

「ねぶた図鑑」を開発した高橋さん(中央)ら
弘前大ねぶたVisitorsのメンバー



弘前ねぶたまつりあす開幕

図鑑アプリ活用して

弘大生開発、位置情報システムも

7カ国語対応 訪日客の利用意識

弘前の短い夏を盛り上げる弘前ねぶたまつりが8月1日に開幕する。参加団体のねぶたに関する情報をより簡単に得られるウェブサービスが今年も充実。ねぶたの位置情報システムに加えて、弘前大学の学生団体が今年初めて開発した「ねぶた図鑑」も開幕日に合わせて運用を始める予定で、学生たちは「その日参加する団体を表示したり、気に入ったねぶたを登録したりすることもできる」と活用を呼び掛けている。

(石田紅子)

ねぶた図鑑は弘前大の学生団体「弘前大学ねぶたVisitors」が開発。無料で利用でき、鏡絵と見送り絵、絵師、出陣日、団体情報などが掲載される。日本語のほか、韓国語や中国語など計7カ国語に対応しており、訪日客の利用も意識した。2日に発表される受賞結果も即日発信する予定だ。

団体代表を務める理工学部電子情報工学科4年の高橋那日斗さん(21)は「推し活のようなニーズに応えられるアプリを目指した」と

ねぶたの運行状況をリアルタイムで発信する位置情報システムは今年で提供5

年目となり、弘前大学院理工学研究科と弘前市の合同会社ミームテックが協力して運用する。合同運行に

参加する全69団体のうち、60団体以上の位置情報がシステムに反映される見通しだ。

このほか、祭りでは弘前観光コンベンション協会が観客投票により観客賞を決める。囃子や運行形態、パフォーマンスなどを総合的な視点から気に入った団体を選ぶ「団体部門」と、

ねぶた本体を美術的な視点で選ぶ「本ねぶた制作者部門」の2部門の投票を2次元コードから募集する。結果発表・表彰は7日。



観客賞投票の2次元コード



ねぶた図鑑の2次元コード



位置情報の2次元コード

※この画像は当該ページに限って

陸奥新報社が利用を許諾したものです。

[問合せ先]弘前大学理工学研究科

E-mail:r_koho@hirosaki-u.ac.jp